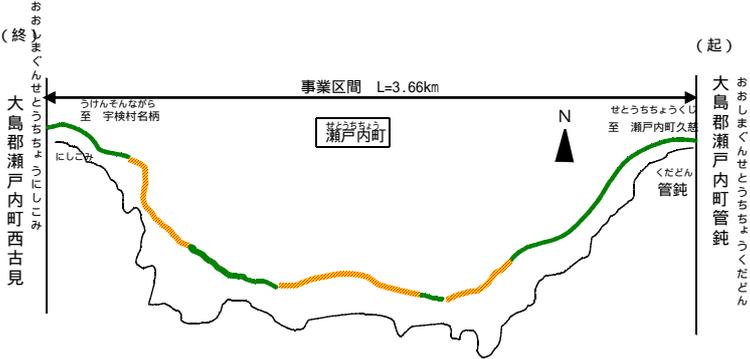


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局道路部地域道路課
担当課長名：の場 眞二

事業名 一般県道 曾津高崎線		事業区分 地方道	事業主体 鹿児島県								
起終点 自：鹿児島県大島郡宇検村管鈍 至：鹿児島県大島郡瀬戸内町西古見		延長 3.66 km									
事業概要 一般県道曾津高崎線は、奄美大島の南西部に位置し、宇検村管鈍地区を起点とし宇検村の各集落を經由して瀬戸内町西古見地区に至る延長約3.3 kmの補助幹線道路である。当路線は、安全で円滑な交通を確保し、各集落の交流促進及び地域の活性化に寄与する延長3.66 kmの2車線道路である。											
H7年度事業化	H年度都市計画決定 (H年度変更)	H7年度用地着手	H8年度工事着手								
全体事業費	約61.7億円	事業進捗率	55%								
計画交通量	480台/日	供用済延長	2.0 km								
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 26/46億円 (事業費：25/45億円 維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 43/64億円 (走行時間短縮便益：21/28億円 走行費用減少便益：0/7億円 交通事故減少便益：22/29億円)								
	(残事業) 1.7		基準年 平成16年								
事業の効果等 ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する）他8項目に該当											
関係する地方公共団体等の意見 現道は、線形不良の隘路区間で、豪雨時には斜面の崩壊など道路災害が多発していることから宇検村からも早急な整備要請を受けている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当路線を主に利用する圏域（名瀬市、瀬戸内町） 人口 平成7年度（約11.9千人） 平成14年度（約11.1千人） 0.93倍 自動車保有台数 平成7年度（約4.5千人） 平成14年度（約5.7千人） 1.27倍 交通量(日当たり) 平成6年度（約1,687台/日） 平成11年度（約1,552台/日） 0.92倍											
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度までに2.0 kmを供用しており、残りの用地取得も概ね同意を得られていることから平成22年度には完了する。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得において字図混乱箇所が多く、さらに相続問題の発生等により登記処理に長期間要したが用地取得も平成17年度には完了する。											
施設の構造や工法の変更等 特になし											
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図											
											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>事業中</td> <td>——</td> </tr> <tr> <td>現 道</td> <td>——</td> </tr> </table>		凡 例		供用中	——	事業中	——	現 道	——		
凡 例											
供用中	——										
事業中	——										
現 道	——										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。